

地球温暖化防止に貢献

株式会社セブン&アイ・ホールディングス
一般財団法人セブン-イレブン記念財団
2013年6月19日

日本の健全な森林づくりをすすめ、国産木質材の活用を促進します 間伐材等国産材を30%以上含む紙製飲料容器“カートカン”を使用 **セブンプレミアムの健康飲料2品を新発売!** ～6/25(火)より順次、セブン&アイグループ各社で発売～

株式会社セブン&アイ・ホールディングス(東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>:村田 紀敏、以下「当社」)は、「セブン&アイの森」(次ページご参照)から伐採した間伐材を含む紙製飲料容器“カートカン”を使用した、プライベートブランド(PB)商品「セブンプレミアム 健康果実 1日分 プラスコラーゲン」と「セブンプレミアム 毎日おいしい緑黄色野菜 プラスビタミンA」を、6月25日(火)より順次、首都圏・長野県のセブン-イレブンや全国のイトーヨーカドー、ヨークベニマル、ヨークマート(合計約5,700店舗)で発売いたします。

この商品は、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社(愛知県名古屋市、代表取締役社長:堀 雅寿)と当社が、「地球にやさしい商品を作りたい」という企業理念で一致し共同開発に至ったセブンプレミアム初の“カートカン”使用商品です。容器には国産木材を30%以上含む“カートカン”を使用することで温暖化防止にも繋がります。また、飲料は果実や緑黄色野菜に加えコラーゲンやビタミンAを使用した「身体にやさしい商品」です。

当社と一般財団法人セブン-イレブン記念財団は、昨年6月より日本の森林を育て国産木質材の利用を促進する「セブン&アイの森プロジェクト」を開始いたしました。このプロジェクトは植林活動に限定することなく「健全な森林づくり」に必要な間伐や下草刈り等の森林整備活動を行っています。そして、この森林から得られる国産木質材をグループ内の店舗資材や商品に使うことで国産木質材の活用を促進しています。

【商品概要】

商品名 『セブンプレミアム 健康果実 1日分 プラスコラーゲン』
『セブンプレミアム 毎日おいしい緑黄色野菜 プラスビタミンA』

価格 195g:各115円(税込)

販売店舗、スケジュール

- ・6/25より、東京23区のセブン-イレブン約1,300店
- ・7/9より、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、長野県のセブン-イレブン約4,000店、全国のイトーヨーカドー175店、ヨークベニマル179店、ヨークマート73店の店舗で販売開始

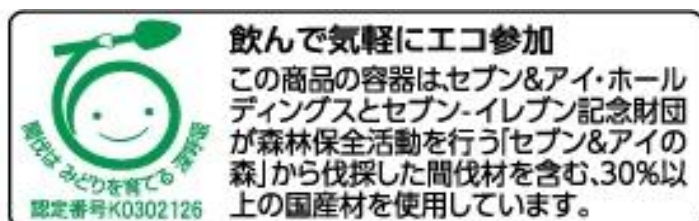
商品特長

『セブンプレミアム 健康果実 1日分 プラスコラーゲン』

- ・一日分の果実摂取量目安(200g)分を凝縮した果汁100%
- ・果実のしっかりとしたおいしさやさしい桃の風味にコラーゲン2000mgを加えました。

『セブンプレミアム 毎日おいしい緑黄色野菜 プラスビタミンA』

- ・ビタミンA200~570μgを含み、一食分の野菜摂取量目安(120g)を緑黄色野菜汁で補えます。
- ・野菜汁60%、果汁40%。野菜と果実のおいしさをバランス良く味わえます。

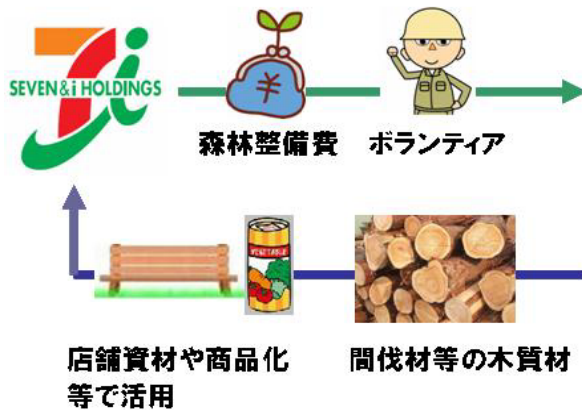


国産木材を30%以上使用したカートカンは、国産材の利用を促進、「植える→育てる→収穫する→植える」というサイクルに寄与し、健全な森林を保全することにつながります。地球温暖化の原因といわれるCO2の吸収を促すことで地球温暖化防止に貢献できます

ご参考

<セブン&アイの森プロジェクトの概要>

- ・ 森林所有者と5年間協定を結び「セブン&アイの森」として森林整備活動を行います。
- ・ 長野県埴科郡坂城町「南条生産森林組合」の所有する約200ha。東京ドーム約43個分
- ・ 森林整備費はセブン&アイ・ホールディングスとセブン-イレブン記念財団より拠出。
- ・ 活動は間伐や樹種転換等、地域ニーズに合わせた森林整備活動。
- ・ 「小売業」という特性を生かし、セブン-イレブンやイトーヨーカドー等の店舗資材や事務備品、商品等、様々な分野で木質材の積極的な活用を推進。
- ・ 同時にグループ社員もボランティアとして森林整備活動に参加。



【森林整備】

- 森林所有者
- 森林組合（間伐・整備事業体）



<セブン&アイの森の間伐材活用例>

アリオ鷲宮店、アリオ上尾店のリサイクルBOXやベンチに間伐材を使用しました。



<グループ社員のボランティア活動>

12年度は計3回にわたり212名の役員・社員がボランティア活動で森林整備を行いました。



以上